

平成30年度版

# 病 院 年 報

第 43 卷



越谷市立病院

— smile, safety, satisfaction —

## 平成30年度病院年報の発刊にあたって

院長 丸 木 親

令和元年になり、平成最後の病院年報となりました。私は、ほぼ平成とともにこの病院での勤務医生活を過ごしたことになります。その間、周辺医療機関の整備状況は刻々と変化しました。草加市、春日部市両自治体病院の充実と建て替え、獨協医科大学埼玉医療センターの開設、久喜市に新久喜総合病院、さらには浦和美園に順天堂の分院、加須市に済生会病院などの大規模な病院の建設計画があります。埼玉県東部地区は医療過疎と言われていますが、今や医療激戦区ではないかと思えます。空いた病床を次の新入院患者で埋められれば良いが、新入院患者が微増に留まり、現実には病床稼働率が当院のように低下し続けている病院が多いと言われていています。全体のパイが限られているのですから、自院の新入院患者の激増は期待できず、各病院は救急医療に注力し新入院患者を獲得しようとして競争は激化します。このような中、当院に求められる新入院患者獲得の手段とは、高度な救急医療を充実させることも大切ですが、人員増や設備投資が困難な状況ですから、近医や周辺の施設からの紹介患者をスムーズに受け入れるような地域医療連携の繋ぎ目、ハブとなる病院になる事と思われれます。各医療機関が患者を奪い合うよりも、もう少し大きな眼で連携して行かない限り、これからの専門医の集約化、働き方改革には対応ができなくなり、地域医療は崩壊します。

自治体病院の役割とは、できるだけ地域の多くの患者を受け入れ、自院で標準治療が提供可能な患者を選別し、そうでない患者は速やかに超急性期病院に転送、後方連携の回復期病院、療養型病院、施設、在宅に回して行く事で地域医療体制に貢献することではないかと考えています。このような病院にすべく、職員は自分達に何が望まれているのかということ常を意識して下さい。この病院には病棟区はもう無く、広く患者を受け入れなければなりません。各部署においてもエキスパートよりは、まずは基本的な実務が万遍なくこなせるスタッフを配置しなければならないと考えます。そして何より、新入院患者をこれからどのように支えて行くのかという観点を入院時から持って頂くことが重要です。因みに、この10連休で病院は大きな減収を被りましたが、これは今の病院の体制で、一部の科の時間外救急を頑張っているだけでは、支えられないという現実の裏返しとも考えています。地域の患者から他に行くことはない、越谷市立病院に行けば何とかしてもらえろという信頼感を持ち続けて頂けるようにしなくてはなりません。

## 病 院 の 理 念

私たちは地域の健康を守るため最良の医療を志向し、愛され信頼される医療を行なうにあたり、次のことを実践します。

－ smile , safety , satisfaction －

○私たちは病院の使命を自覚し、患者様のニーズに応える医療を提供します。

○私たちは医療の向上に努め、生命の尊厳を重視し安全な医療を提供します。

○私たちは患者様の視点に立ち、患者様が満足できる医療を提供します。

平成14年4月1日制定

## 基 本 方 針

- 1) 救急医療を充実させ、地域住民の求める医療に積極的に応えます。
- 2) 医療連携を積極的に推進し、地域に根ざした医療を展開します。
- 3) 安全な医療を旨とし、医療の質・患者サービスの向上を図ります。
- 4) 確かな技術で、高度な医療を展開します。
- 5) 職員は使命感と誇りを持ち、夢と感動ある医療を実践します。
- 6) 安定した経営基盤を確立し、限りある医療資源を有効に活用します。
- 7) 「患者の権利と責務」を遵守し、患者様との信頼関係に結ばれた医療の提供を目指します。

平成19年4月1日制定

平成30年4月1日改定

# 目 次

## 第1章 概 要

(1) 病院の概要	1
(2) 病院の沿革	3
(3) 届出に関する事項	13
(4) 配置図等	15
(5) 病院機構図	17
(6) 施設の概要	19
(7) 主要医療機器等一覧	21

## 第2章 平成30年度業務

### 第1節 管理業務

(1) 職員に関すること	24
(2) 財務に関すること	26
(3) 業務の委託	34
(4) 光熱水費の状況	35

### 第2節 病院業務

(1) 患者数調べ	36
(2) 診療報酬に関すること	41
(3) 院内死亡数及び解剖数	42
(4) 臨床検査科業務	43
(5) 薬剤科業務	46
(6) 栄養科業務	50
(7) 放射線科業務	52
(8) 内視鏡室業務	58
(9) 中央手術室業務	59
(10) リハビリテーション科業務	60
(11) 臨床工学科業務	63
(12) 人間ドック集計	64
(13) 看護部業務	66
(14) 緩和ケア業務	70

## 第3章 研究業務

(1) 学会等における研究発表及び講演	71
(2) 著書及び論文発表	78

(3) 研究発表

1) 内 科	当院通院中の2型糖尿病患者におけるアルブミン尿・腎機能に関する検討 .....	80
2) 消化器科	3mmのde nova 癌の一例.....	86
3) 小 児 科	けいれん重積型(二相性)急性脳症の2例.....	89
4) 整形外科	Pearls and Pitfalls of the ToggleLoc With ZipLoop for Anterior Cruciate Ligament Reconstruction.....	93
5) 脳神経外科	当院での慢性硬膜下血腫500症例の検討と紫苓湯の再発予防について .....	98
6) 産科・婦人科	当院における早期子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術の導入の試み .....	102
7) 外 科	モーズ軟膏により出血コントロールが可能であった局所進行乳癌の一例 .....	106
8) リハビリテーション科	高位脛骨骨切り術後前後の筋力推移.....	108
9) 臨床検査科	当院における血液培養実施状況の分離菌について.....	111
10) 6-1 病棟担当	介達牽引の医療関連機圧迫創傷発生の減少を試みて.....	115

(4) 平成30年度ガス・メス納め集会より

1) 麻 酔 科	麻酔科・中央手術室手術統計.....	118
2) 循 環 器 科	循環器科年次報告.....	120
3) 外 科	外科手術統計.....	122
4) 小 児 科	小児科入院統計.....	123
5) 整形外科	整形外科手術統計.....	124
6) 脳神経外科	脳神経外科手術統計.....	126
7) 泌 尿 器 科	泌尿器科手術統計.....	127
8) 産科・婦人科	産科・婦人科手術・分娩統計.....	128
9) 眼 科	眼科手術統計.....	130
10) 耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科手術統計.....	131
11) 臨床検査科・病理診断科	病理・細胞診・解剖統計.....	132
案内図	.....	134